



# 2006

## 暮らしと平和まもり 希望ある流れ大きく

### 日本共産党

東京のみなさんと  
ともに

参議院議員



「たしかな野党」の議席の一翼をになつて

新しい年をどうお迎えでしょうか。あの猛暑の総選挙の結果、みなさんの願いの詰まった重いバツジをお預かりして四か月、今年こそ国民みんなが希望を持てる「日本改革」への一歩を、と決意を新たにしています。

たくさんの激励をいただき、特別国会の四十二日間に、本会議、厚生労働委員会、憲法調査特別委員会で二十一回の質問・発言・討論に立ちました。四年ぶりに国会に戻って、三分の二の議席を得た小泉・自公政権の暴走とともに、はぐらかし、ウソとごまかしの横行に自民党政政治の行き詰まりを実感しました。

今年は、医療改悪や大増税、憲法改悪、横田などが在日米軍再編強化と悪政が目白押し。「たしかな野党」の議席の一翼を担って、いのちと暮らし、平和と憲法九条を守り抜き、日本共産党の新たな前進をめざして、みなさんとスクラム組んでがんばります。

あなたとお会いできる日を、再会できる日を、心待ちにしています。今年もよろしく願っています。

衆議院議員(比例東京選出)

笠井 亮

参議院議員(比例選出)

小池 晃

党政策委員長

参議院議員(東京選出)

党国際局長

緒方靖夫



笠井亮議員の  
ホームページが  
リニューアル

笠井議員のホームページが1月から新しくなりました。時々のおもいつく「私が思うこと」、毎日の活動を写真と短い記事でお知らせする「NEWS」。「国会から」「東京とともに」「私の紹介」「憲法」「野党外交」などのコーナーも。ぜひご覧ください。

<http://www.kasai-akira.jp>

日本共産党

衆院比例東京ブロックニュース

2006年1月 No.2  
発行/国会議員団東京事務所

〒151-0053 渋谷区代々木1-44-11-1F Tel 03-5304-5639 Fax 03-3320-3374 Mail kokkaitokyo@jcp.or.jp

## 暮らし・福祉・医療の 願いを国政へ



原爆症認定のあり方などの問題で日本共産党の被爆者対策委員会（責任者・小池議員、事務局長・笠井議員）は日本被団協と懇談、活発に話し合いました。

原爆症認定問題などで  
日本被団協と懇談



深刻な若者の雇用問題で、党の「緊急要求」にもとづき全労連に申し入れ。力を合わせた運動へ意見をかわしました。

若者の雇用まもう  
：全労連に申し入れ・懇談



建設労働者の命綱・建設国保の予算確保などを厚労省や財務省に要請。全建総連との懇談や決起集会での連帯挨拶（写真）など精力的に。

建設国保の拡充を  
：政府要請や決起集会



政府が全国の厚生年金病院を売却しようしている問題で、大山とも子都議らと東京厚生年金病院院長と懇談。運動を広げるため奮闘しています。

東京厚生年金病院は公的病  
院として存続を：院長と懇談



先の国会で政府・与党は障害者の願いを踏みにじり、「自立」支援法案を強行。党議員団は国会にかけつけた人たちと新たな奮闘を誓い合いました。

障害者の生活と権利をま  
もる決意新たに

## 国会論戦、各党討論、草の根の運動 — 憲法まもるたたかいへ全力 笠井亮 議員



12月10日に開かれた世田谷区の「憲法9条を愛する鳥山の会」の憲法講座で



「朝まで生テレビ」で憲法問題を討論  
=11月5日未明 テレビ朝日の放送から



慶応大学で開かれた市民団体主催の公開  
討論会で=10月16日

憲法改正をめぐる動きは、自民党が「改憲」草案を正式発表し、通常国会への国民投票法案提出の動きが強まるなど、緊迫した局面になっています。  
笠井亮議員は衆院憲法調査特別委員として、国会論戦や、各党との公開討論・テレビ討論な

国民投票法案めぐり緊迫の度ます国会

どフル回転。地域での集会や講演など草の根からの活動でも奮闘しています。  
12月10日には世田谷区の「憲法9条を愛する鳥山の会」の第3回憲法講座で「世界から見た憲法9条」をテーマに講演しました。同会は昨年5月の発足以来、会報を出し、憲法フェスタ、ピースウォーク、署名など活発に活動をすすめています。この日も会場は満杯。笠井議員は、草の根のエネルギーにふれ、決意を新たにしています。

### 都議団が107項目の政府予算交渉 笠井議員同席



財務副大臣へ申し入れる都議団と笠井議員  
=12月16日

12月16日、党都議団は来年度政府予算で、暮らし・福祉、街づくり、教育、平和など107項目の要求実現をと、竹本直一財務副大臣に申し入れ。笠井議員も同席しました。



衆院国土交通委員会で証人に尋問する笠井議員=12月14日

### 耐震偽装問題

住民への支援と補償、全容の究明、建築確認の見直しなどへ奮闘

マンションなどの耐震偽装問題は新たな物件が次々と明らかになり深刻な広がりを見せています。  
日本共産党は11月22日、小池、笠井議員らがいち早く国交省から状況を聴取し対策を要請。12月14日には笠井議員が証人喚問に立ちました。  
住民支援や全容究明とともに、共産党以外の党がすすめた建築確認の民間開放の見直しは焦眉の問題です。また「ウチは大丈夫か」という他のマンション住民の声も切実。笠井議員らはひき続き全力をあげています。

### 餅つきペッカーン 後援会まつりなどで交流



足立区西新井公園でのふれあいまつりで

年末年始、各地の党後援会の行事が盛んです。笠井議員は11月20日には足立区の3地域のふれあいまつりへ。餅つきにも飛び入りし、交流を深めました。

### 好評です “日本共産党を語る”講演



練馬の「党を語る会」で  
=12月12日

11日からの党大会めざし各地で「党を語る講演会」などが開かれています。笠井議員の国会情勢や野党外交にふれた、縦横な訴えが好評です。